

【評議員会議事録】

日 時：2012年7月14日（土）13:00～17:00

場 所：東京大学理学部1号館336号室

出席評議員：岡村，牧島，井上，奥村，渡部，市川，佐藤，林（正彦），林（隆之），観山（以上10名）

欠席評議員：伊藤，海部，劉，須藤，嶺重，家，池内，犬塚，柴田，杉山（以上10名）

事前に，伊藤，劉，須藤，嶺重，池内，犬塚，杉山評議員からは委任状が提出されている。

その他，河合副理事長，本原・竹田庶務理事，松尾・田代会計理事，茂山PASJ理事，西野事務長が出席した。

なお，岡村理事長と杉山副理事長は評議員を兼任している。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち，出席者と委任状をあわせて17名で定足数を満たし，本会が成立することが確認された。また議長と署名人が以下のとおり選出された。

議 長：渡部潤一

署名人：林 正彦，佐藤勝彦

I-2 資料2に基づき，前回2012年3月20日の評議員会議事録の確認が行われた。

II. 報告

II-1 理事会報告（本原）

本原庶務理事より，6月23日に行われた理事会の報告がなされた。

II-2 事務所報告（西野，資料3）

現在11名が事務所で作業している。

II-3 学術会議報告（観山，井上，資料4）

提言書「我が国の宇宙政策のあり方と宇宙科学の推進について」を出した。半年以上をかけ，様々な査読を通過したものである。

また，中規模の将来計画（科研費では実現困難で，100億円以下のもの）で良い物を取り上げ，推薦する予定。各研究者団体に，分野ごとに優秀な中規模計画に順位をつけて推薦の依頼をしている。

II-4 IAU報告（岡村，配布資料）

IAU北京総会が8月に開催される。SOCには多くの日本人が入っているが，会員比率を考えるともう少し多くてもいいくらいである。

II-5 ACM2012開催報告（渡部，資料12）

震災の影響で延期されていたACM2011が，一年遅れでACM2012として5月に開催。300名近くの参加があった。

II-6 次期役員・委員会について（本原，資料6）

次期役員，委員の候補者が会長・副会長を除き確定した。

II-7 会長・代議員選挙について（本原）

7月20日が立候補締め切り，8月7日より投票が開始されて9月7日開票となる。

II-8 新法人移行作業について（本原）

6月4日に新法人移行申請を行った。申請の受付の連絡は既にあり，順調に進めば今年中に新法人に移行できる。

II-9 新法人の内規について（岡村，資料7）

現在の細則と内規は歴史的な背景もあって複雑なものになってしまっている。新法人への移行に際して，細則および内規の体系の見直しを行っている。内規については理事および各委員会委員長に回覧して意見収集した後，秋の評議員会での承認を考えている。

II-10 年会費のコンビ二支払の導入（本原，資料8）

現在、天文月報にはさみこまれている年会費の支払いのための郵便振替用紙を、コンビニ支払い用紙へ変更することを決定した。

II-11 日韓合同セッションについて（河合）

2013年春季年会で、企画セッション「宇宙天気と宇宙気候（space weather and space climate）」として日韓合同セッションを行う。世話人は柴田、草野、常田、小原、浅井氏と、韓国側3名の予定。

II-12 100周年記念出版事業の残金の取り扱い（岡村）

現在ある残金（約200万円）で、7月10日に刊行された用語集を購入し、賛助会員に配布する。残り、現代の天文学シリーズを購入し、希望する全国の高校・大学学部に寄付する。希望するところには、理由と利用方法そえて応募してもらう予定。

III. 議題

III-1 PASJサイトライセンス導入の承認（茂山、資料5）

現在は設定されていないサイトライセンス制度の導入の検討を進め、機関規模に応じた価格設定を行うこと、および販売価格が提案された。理事会での議論を踏まえ、特に研究室レベルの小規模購読者の価格を大幅に圧縮した。これに対し、国内外での価格差は何によるものなのか、という質問が出され、これは国外の契約手続きで経費が余分にかかっているためであると説明された。また、卸値と販売価格の差が大きいのではないかという指摘があった。取次の丸善が行う作業は契約手続きだけであることから、販売価格の引き下げの交渉を行うことが求められた。以上の議論を経て、提案は承認された。

III-2 OUPへの製作販売委託の提案（茂山、資料5）

現在のPASJの大きな問題として、編集部の人手不足から受理から出版まで5~6カ月かかってしまうことがある。これに対し、誌面制作のサポートと販売をOxford University Press（OUP）に委託することが提案された。メリットとしては、受理から電子版の公開まで6週間以内となること、印刷代の大幅な圧縮、OUPへの販売委託による購読数の増加が期待できる、投稿・査読がすべてweb上で行える、などがある。デメリットは、為替レートの変動リスク、イギリスのインフレ率に合わせた年間数%の値上げ、E-openの大幅な値上げ（論文あたり20万円程度）などがある。

これに対し、機関購読料の値上げは大規模機関を大きくし中小はできるだけ抑えるという手段もある、かつてApJがIOP Publishingに移行したときはトラブルが続出したがOUPは大丈夫なのか、出版までの時間が短縮されるのは非常に重要であるので前向きに進めるべきである、などの意見が出された。

以上の議論を踏まえ、今回の承認は見送り、国内の他の学会誌でOUPに移行したところにトラブルの有無や印象などのアンケートを取るなど追加調査を行うこととした。次回評議員会で再度議論する。

III-3 2013年度事業計画書案（本原、資料9）

2013年度事業計画書案が説明された。字句の誤りなどの修正の指摘後、承認された。

III-4 2013年度予算書案（松尾、資料10、配布資料）

2013年度予算書案が説明された。過去予算との最大の変更は、新会計法に則った書式になったことである。来年度は15カ月という変則的な年度であるため、会費収入は1.25倍にとどまるのに対し、各賞の表彰経費は2倍、年会開催費用は1.5倍など支出がそれを上回る。このため、最終収支は350万円の赤字となっている。これに対し、新書式の見方がわかりにくいので、総会では十分な説明が必要であることが指摘された。

以上の議論を経て、2013年度予算書案は承認された。

III-5 秋季定期総会議題案（本原、資料11）

若干の修正の指摘後、承認された。

III-6 新法人の細則・内規の承認（岡村、資料7）

現在の各種細則を、新法人の定款に合うように修正・新設・廃止する必要があるため、細則の新設と廃止、および内規の廃止を審議した。内規の修正ないし新設は、関連する委員長などの確認を経て、次回の評議員会で審議する。ただし、「日本天文学会天体発見賞内規」については、委員長が会議に出席しており確認が取れたため、今回審議した。

・「会費に関する細則」の変更

説明後、賛成多数で承認された。

・「会長・副会長・理事・監事選考細則」の新設
賛成多数で承認された。

・「役員の報酬及び費用に関する細則」の新設

新定款では常勤理事を設置することが可能となっているが、その場合には新法人移行申請時にこの規定をあわせて提出する必要がある。

賛成多数で承認された。

・「日本天文学会委員会などに関する共通内規」の廃止

各種委員会の定義などに関する規則は、内規よりも上位の細則で定義すべきであるという説明がなされた。同等の細則を新設することを条件に賛成多数で承認された。

・「日本天文学会委員会などに関する細則」の新設

賛成多数で承認された。

・「天体発見賞に関する細則」の廃止

他の各賞の規定が内規なのに対し、天体発見賞のみ細則であったことが説明され、同等の内規を新設することを条件に、賛成多数で承認された。

・「日本天文学会天体発見賞内規」の新設

賛成多数で承認された。

・「評議員選挙施行細則」の廃止

賛成多数で承認された。

・「理事長選挙施行細則」の廃止

賛成多数で承認された。

・「日本天文学会100年史編纂委員会に関する内規」の廃止

賛成多数で承認された。

次回の評議員会は、2012年9月20日、秋季年会期間中に大分大学で開催される。

[資料リスト]

資料1 評議員会出欠表

資料2 前回評議員会議事録

資料3 事務所報告

資料4 学術会議報告

資料5 PASJ編集委員会からの報告および議案

資料6 次期役員候補者

資料7 新法人の規則案

資料8 年会費のコンビニ支払いシステム導入について

資料9 2013年度事業計画書（案）

資料10 2013年度予算書（案）

資料11 2012年度秋季定期総会議題（案）

資料12 Asteroids, Comets, Meteors 2012 開催報告

配布資料 IAU北京総会の科学ミーティングのSOCを務める日本人

配布資料 予算書追加資料

2012年8月27日

議長：渡部潤一 印

署名人：佐藤勝彦 印

署名人：林 正彦 印